2020年4月15日発行

日本労働組合総連合会 三重県連合会

〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891 TEL.059-224-6152 FAX.059-223-3633 発行責任者 伊藤公則 編集人太田美子



HPアドレス http://www.rengo-mie.jp/

メールアドレス info@mie.jtuc-rengo.jp

第91回メーデー 迎えるにあたり

日本労働組合総連合会三重県連合会 会長 吉川 秀治



第91回メーデーは、日本において開催された1920年 の第1回メーデーから100周年を迎えました。ただ、1936 年~1945年の10年間は、戦時中での戒厳令による取締 りと弾圧で開催できなかったことから、91回となっている ことを忘れてはならない事実として記憶いただきたいと 思います。終戦後、労働運動に関わった多くの先輩たち の手で、ふたたびメーデーが開催され、団結の歴史が引 き継がれてきました。

今年のメーデーは、我が国のメーデー100年と言うひ とつの区切りと同時に、連合三重が結成されてから30周 年を迎えた記念となるメーデーでした。働く多くの仲間と ともに盛大にお祝いし、メーデーの意義と労働者の団結 を確認するとともに、直面する各種の運動課題に取り組 む意思結集の場となる予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、人類の 生命をも脅かす事態となり、日本のみならず世界が揺れ ている現在、例年通りの三重県中央メーデーおよび各 地協の地区メーデーの開催を断念せざるを得ないと判 断いたしました。

労働運動が「社会が平和で安定している」ことを前提 に成り立っていることを考えると、現下の状況は安定とは 真逆の状態にあると言えます。特に経済環境の悪化に より、不安定な雇用や弱い立場で働く仲間が厳しい状況 に追い込まれています。いまこそ公的な各種助成金を活 用し、事業の存続と雇用の確保に労使で取り組み、助成 金が確実に労働者まで行き渡ることで暮らしを維持し、 この難局を乗り切らなければなりません。

一方、2020春季生活闘争は、新型コロナウイルスの感 染拡大と時期が重なったこともあり、各組合とも極めて厳 しい労使交渉となっています。4月6日現在の全国集計 では、前年を651円下回り、0.21ポイント低下の回答状況 で、一定の賃上げが図れたものの、前年を割り込む結果 となっています。しかし、300人未満の中小組合の集計で は、前年を66円下回り、0.03ポイント低下となっているもの の、ほぼ前年同水準の状況と判断できる回答結果が得 られています。厳しい状況下での「人への投資」が労使 交渉を通じて導き出された結果と、改めて敬意を表しま す。また、交渉継続中の組合は、労使交渉と並行して、 事業と雇用をまもるために最大限の取り組みをお願いい たします。

連合三重はこれまでの間、行政機関をはじめ、各経済 団体への新型コロナウイルスの影響聞き取りと意見交換 を通じて要請を行うとともに、「緊急労働相談ホットライ ン |を設置し、相談者への支援をおこなってきました。引き 続き、緊急労働相談窓口を設置し支援を継続してまいり

新型コロナウイルスとの戦いは長期戦となります。各 組織における防疫はもとより、私的時間においても一人 ひとりの行動が感染拡大に大きな影響を与えます。細心 の注意をはらい、安全と健康の確保の先にある労働運 動の更なる前進に向けて、ともにがんばりましょう。

2020年5月1日

4月下旬より 随時配信予定 Coming soon!

連合三重の「ホームページ」からアクセス

「 YouTube」、「facebookページ」をぜひご覧ください。

http://www.rengo-mie.jp

連合三重 #1 吉川会長からのメッセージ

#2 神津会長から全国の働く仲間へ LIVE配信 4月29日 10:30~10:45 -100年の歴史、地方のメーデー、職場からのメッセージ

連合三重結成30周年記念 記念映像「30年を振り返って」

働く者の祭典「メーデー」

メーデーには連合三重を構成している単位労働組合(単組)から組合員が結集し、労働者の地位や労働条件の向上に とどまらず、人権や労働基本権の確立、民主主義の発展、恒 久平和の希求など、社会に向けてメッセージを発信していま す。またメーデーは、単組の垣根を越えた組合員同士の貴重 な交流の場でもあります。

会場では、さまざまな組織・団体がブースを出展し、抽選会や子ども向けの参加型イベントなども開催され、家族みんなで楽しめるイベントへと発展しています。「労働者の団結と主張の場」とともに、「働くすべての仲間の祭典」へと、メーデーの位置づけは、時代の流れとともに変化しています。

連合三重が結成され30年・



第61回中央メーデーは、連合三重が結成され、初のメーデーとなり、 1990年5月1日 津お城西公園に多くの仲間が集い、歴史的なメー デーとなりました。



GWを家族で過ごしていただきたいということもあり、GWの初日を中心に日を設定し、屋内施設を中心に開催してきました。







「地域に顔の見える運動」の一つとして、これまで地域で独自に開催されていた地区メーデーと共催で、中央メーデーを開催してきました。豪華賞品も当たる抽選会もメーデーの名物企画であり、2019年までにすべての地協において、中央メーデーを開催することになりました。

新型コロナウイルスに関する連合三重の取り組み

●緊急集中労働相談を開設●

新型コロナウイルス感染症の影響で内定(採用)取り消しや解雇、契約解除などで困っている方からの労働相談を受け付ける緊急集中労働相談(0120-154-052)を開設しています。

組合員をはじめ、家族・友人・知人で お困りの方がおみえでしたら、ご相談 ください。

00 0120-154-052



3月30日には、NHKや三重テレビから取材を受け、 多くの相談が寄せられています。

これまで寄せられた相談内容(一部抜粋)

- Q. 新型コロナウイルスの影響による会社の経営難を理由に解雇された。
- Q. 新型コロナウイルスの感染予防のため、仕事を休むことにした場合の賃金補償は?
- Q. 新型コロナウイルスの影響で会社が休業や勤務時間短縮の場合の賃金は?

詳細は、連合三重HPをご覧ください。 http://www.rengo-mie.jp



●緊急経済会合へ出席●

三重県は4月8日、新型コロナウイルスによる経済への影響について、県内の金融機関や労働組合など18の団体の関係者を集め、緊急経済対策を協議しました。連合三重からは、吉川会長が働く者の代表者として会合に出席し、労働者がおかれた状況など発言し対策を求めました。

